和歌山県学童部県大会A級・B級特別規則

和歌山県軟式野球連盟学童部

1 A）**試合は6イニング制とする。但し、A級は試合開始後1時間30分、B球は1時間20分経過以降は、均等回完了をもってゲームは終了する。（回数はいわない）優勝戦も同じ。**

① 得点をリードしている後攻チームの攻撃中に試合時間を超えた場合はその時点でゲームを打ち切る。（審判員は、その時の打者の攻撃中にその旨を両チームに通告し、この打者の記録までを有効とする。）

② 同点でイニングを終了し試合時間を超えている場合は、延長戦を行わず封筒抽選とする。
但し、優勝戦は時間内、時間越えを問わずA級は2イニングを限度に、B級は1イニングを限度に特別延長戦を行う。特別延長イニングを終了しても勝敗を決しない場合は、封筒抽選で勝敗を決する。

B） 試合の延長は6回を終了し、試合時間を超えていない場合のみ特別延長戦をA級2イニング、B級1イニングを限度に行うが、A)①、②を適用する。

C）特別延長戦
継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁とする。すなわち、0アウト一塁・二塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。
なお、勝敗が決しない場合はさらに継続打順でこれを繰り返すこととする。

2 投球数制限

① 1人一日70球以内（4年生以下60球以内）
② 試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。
③ ボークにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。
④ タイブレークになった場合、一日の規定投球数以内で投球できる。
⑤ 牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。
⑥ 投球数の管理は、大会本部が行う。

3 得点差によるコールドゲームは5回以降7点差の生じた場合とする。但し、優勝戦は除く。

4 天候気象によるコールドゲームは5回終了をもって正式試合とする。
サスペンデッドゲームは採用しない。

抽選方法

1 審判員は、試合終了時に出場していた両チームの選手を挨拶の状態（守備位置順）に整列させる。監督は自チームの斜め後方に立つ。控えの選手はベンチ前に整列させる。

2 抽選用紙に〇印、×印を記入した各9枚を封筒に入れ、球審が先攻側チームより1枚ずつ交互に選ばせる。このとき、一塁塁審は一塁側チームの右翼手、三塁塁審は三塁側チームの右翼手の所へ行く。

3 後攻チームの右翼手が封筒を引いたら、両審判員が回収し両チームの監督立会のもと開封〇印の多い方を抽選勝ちとする。

4 勝敗が決した後、全選手を整列（監督はベンチに戻す。）させ、球審が勝利チーム名を本部に伝達する。

5 キャプテン握手の後「ゲーム」を宣告する。

その他

プログラム作成のため、全員の写真（手札型）を参加申込書に同封のうえ和歌山県軟式野球連盟あてに郵送すること。（原則20日前）

平成28年7月9日一部改正（C級特別規則分離）
平成31年3 月10 日一部改正
令和2年2月15 日一部改正
令和3年2月20日一部改正（投球数制限追加）
令和4年2月26日一部改正（6イニング制、時間制限の採用）

和歌山県学童部県大会C級特別規則

和歌山県軟式野球連盟学童部

1　塁間距離21メートル、投手板と本塁間の距離14メートル、本塁二塁間・一塁三塁間の距離は29．69メートルとする。

2　試合は5回戦とするが時間制を採用する。

A）　試合時間は1時間10分とする。（回数はいわない。）優勝戦も同じ。

①　試合時間を超えて新しいイニングに入らない。

②　5回終了または時間打ち切りで同点の場合、延長戦は行わず封筒抽選で勝敗を決する。
但し、優勝戦は時間内、時間越えを問わず1イニングを限度に特別延長戦を行う。
特別延長イニングを終了しても勝敗が決しない場合は、封筒抽選で勝敗を決する。

③　得点差によるコールドゲームは採用しない。

④　気象条件などによるコールドゲームは、3回終了時をもって正式試合とする。
サスペンデッドゲームは採用しない。

⑤　得点をリードしている後攻チームの攻撃中に試合時間を超えた場合はその時点でゲームを打ち切る。（審判員は、その時の打者の攻撃中にその旨を両チームに通告し、この打者の記録までを有効とする。）

B）特別延長戦

継続打順とし、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁走者とする。すなわち、0アウト一塁・二塁の状態にして1イニング行い得点の多いチームを勝ちとする。

3　投球数制限

①　1人一日60球以内

②　試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。

③　ボークにもかかわらず投球したものは、投球数に数える。

④　タイブレークになった場合、一日の規定投球数以内で投球できる。

⑤　牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。

⑥　投球数の管理は、大会本部が行う。

抽選方法

1　審判員は、試合終了時に出場していた両チームの選手を挨拶の状態（守備位置順）に整列させる。監督は自チームの斜め後方に立つ。控えの選手はベンチ前に整列させる。

2　抽選用紙に〇印、×印を記入した各９枚を封筒に入れ、球審が先攻側チームより1枚ずつ交互に選ばせる。このとき、一塁塁審は一塁側チームの右翼手、三塁塁審は三塁側チームの右翼手の所へ行く。

3　後攻チームの右翼手が封筒を引いたら、両審判員が回収し両チームの監督立会のもと開封し、〇印の多い方を抽選勝ちとする。

4　勝敗が決した後、全選手を整列（監督はベンチに戻す。）させ、球審が勝利チーム名を本部に伝達する。

5　キャプテン握手の後「ゲーム」を宣告する。

その他

プログラム作成のため、全員の写真（手札型）を参加申込書に同封のうえ和歌山県軟式野球連盟あてに郵送すること。（原則20日前）

平成28年7月9日（C級特別規則制定）
平成30年5月19日一部改正（試合時間改正）
平成31年3月10日一部改正
令和2年2月15日一部改正
令和3年2月20日一部改正（投球数制限追加）